

は じ め に

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、我が国では、平成 22 年の人口 1 億 2,806 万人、生産年齢人口割合 63.8%、高齢化率 23.0%に対して、30 年後の平成 52 年には人口 1 億 728 万人、生産年齢人口割合 53.9%、高齢化率は 36.1%になると見込まれています。本県でも、平成 11 年以降は死亡数が出生数を上回る自然減の状態が続いており、今後人口減少をいかに緩和し、歯止めをかけていくかが大きな課題となっています。

本県では、平成 27 年 10 月に「安心・活力・発展プラン 2015」を策定し、本格的な人口減少社会の到来を見据え、子どもを生き育てやすい社会づくりを推進する「子育て満足度日本一」に加え、「健康寿命日本一」を新たに掲げ、健康で長生きできる社会づくりの実現などに取り組んでいるところです。

過去に例のない状況のなかで、ライフステージに応じた県民ニーズに的確に対応し、安全・安心な生活環境や、持続可能な社会保障を実現するためには、地域の実態や特性の分析が必要であり、その基礎となる保健統計はますます重要となります。

この年鑑は、平成 25 年における人口動態統計、医療施設調査、病院報告、地域保健・健康増進事業報告等の調査結果をとりまとめたものです。この年鑑が行政に携わる方々だけでなく、皆様に幅広く活用していただければ幸いです。

結びに、この年鑑を刊行するに当たり、統計調査に御協力をいただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

平成 28 年 1 月

大分県福祉保健部長 草 野 俊 介